

### (13) その他の鳥類 (種別が明らかなもの)

聴き取り調査のなかで併せて採録した他の鳥類の呼び名や聞きなしで、種別が明らかなものとして次のものがみられた。

#### 1) スズメ目

##### ① ニュウナイスズメ (スズメ科)

ア 対象種

ニュウナイスズメ

イ 採録した呼び名

- ・ 地方名 ヤマスズメ、ワタリスズメ

ウ 呼び名の状況等

主に山林等で見かけられるというスズメ科の小型の鳥である。

留鳥とされるが、郡域では渡りをするスズメとして認識されていた。

本種の呼び名として「ヤマスズメ」と「ワタリスズメ」の計2種を採録した。

猟や炭焼き等の山仕事で山によく入った山辺の集落の人々の間でそのように呼ばれた。



##### ② コシアカツバメ (ツバメ科)

ア 対象種

コシアカツバメ

イ 採録した呼び名

- ・ 地方名 コシアカ、チャツバメ

ウ 呼び名の状況等

都市部などでとっくり状の巣を作るというツバメ科の夏の渡り鳥であり、その名のとおり腰に赤みがかかった部分がある。

本種の呼び名として「コシアカ」と「チャツバメ」の計2種を採録した。

ともに一部の集落で採録したのみで、郡域で一般的な呼び名ではなかったようである。



##### ③ イワツバメ (ツバメ科)

ア 対象種

イワツバメ

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名 イワツバメ

ウ 呼び名の状況等

山地で見かけられ、その岸壁などに球状の巣を作るというツバメ科の夏の渡り鳥である。

本種の呼び名として「イワツバメ」の1種を採録した。

猟や炭焼き等の山仕事で奥山によく入った山辺の集落の人々の間で山の岸壁に巣をかける鳥として認識され、そのように呼ばれた。



#### ④ コマドリ (ヒタキ科)

ア 対象種

コマドリ

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名 コマドリ

ウ 呼び名の状況等

山林で見かけられるというヒタキ科の小型の夏の渡り鳥であり、ウグイスやホオジロとともにきれいな鳴き声をあげることで知られる。

本種の呼び名として「コマドリ」の1種を、また聞きなしとして計4種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ チカラチカラ
- ・ チンカラカラカラ
- ・ チンカラチンカラ
- ・ チンコロコロコロ



#### ⑤ サンコウチョウ (カササギヒタキ科)

ア 対象種

サンコウチョウ

イ 採録した呼び名

- ・ 尾が長いことから オナガドリ

ウ 呼び名の状況等

山林で見かけられるというカササギヒタキ科の小型の夏の渡り鳥であり、雄が特徴的な長い尾を持つ。

本種の呼び名として「オナガドリ」の1種を、また聞きなしとして計2種を採録した。

猟や炭焼き等の山仕事で山によく入った山辺の集落の人々の間での呼び名や聞きなしとしてみられた。

エ 聞きなし

- ・ ギーギーホイホイホイ
- ・ ツキツキヒーホシホシ (：月月日星星)



#### ⑥ シジュウカラ (シジュウカラ科)

ア 対象種

シジュウカラ

イ 採録した呼び名

- ・ 鳴き声から ススピン

ウ 呼び名の状況等

人里に近い林などで特徴的な少し甲高い鳴き声をあげる黒白に近い体色をしたシジュウカラ科の小型の留鳥である。

本種の呼び名として「ススピン」の1種を、また聞きなしとして計6種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ シシピー
- ・ ススピン
- ・ ススピーン
- ・ スッピン
- ・ ピースト
- ・ ピースピース



### ⑦ ヤマガラ (シジュウカラ科)

ア 対象種

ヤマガラ

イ 採録した呼び名

—

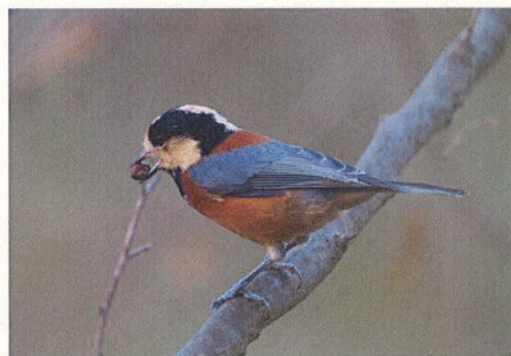
ウ 呼び名の状況等

人里に近い林などで鳴き声が聞かれ、黒い頭部に黄褐色の胸・腹部、灰色の羽を持つシジュウカラ科の小型の留鳥である。

本種の聞きなしとして1種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ シシピー



### ⑧ カワラヒワ (アトリ科)

ア 対象種

カワラヒワ

イ 採録した呼び名

- ・ 鳴き声から キリキリ
- ・ 一般名 ヒワ

ウ 呼び名の状況等

人里に近い林などで見かけられるというアトリ科の小型の留鳥である。

本種の呼び名として「キリキリ」と「ヒワ」の計2種を、また聞きなしとして1種を採録した。

「ヒワ」が比較的に広域でみられた一方、「キリキリ」は樺地区で使われた呼び名であった。

エ 聞きなし

- ・ キリキリ



### ⑨ イカル (アトリ科)

ア 対象種

イカル

イ 採録した呼び名

—

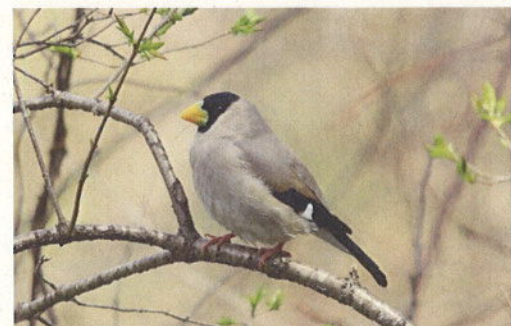
ウ 呼び名の状況等

人里に近い林などで見かけられるというアトリ科の小型の留鳥である。

本種の聞きなしとして計3種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ イセイトコネー (：伊勢いー所ねー)
- ・ キーコーキー
- ・ ピーコーピー



## 2) キジ目

### ⑩ コジュケイ (キジ科)

ア 対象種

コジュケイ

イ 採録した呼び名

—

ウ 呼び名の状況等

人里近い林などで特徴的な鳴き声をあげるキジ科の留鳥であり、大正時代から昭和時代の始め頃の放鳥等により定着した外来種とされる。

本種の聞きなしとして計8種を採録した。

なお、それらが当時からのものかは不明な部分が残る。

エ 聞きなし

- ・ アシタコーイ キノコーイ (: 明日来ーい 昨日来ーい) ・ キノコーイ (: 昨日来ーい)
- ・ コチャコイ コチャコイ ・ コッチコイ コッチコイ
- ・ コッチャコイ コッチャコイ ・ チョコホイ チョコホイ
- ・ チョットコイ チョットコイ ・ ビュットコイ ビュットコイ



### ⑪ ヤマドリ (キジ科)

ア 対象種

ヤマドリ

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名 ヤマドリ

ウ 呼び名の状況等

山林に生息し、赤茶がかった体色のキジ科の留鳥である。

本種の呼び名として「ヤマドリ」の1種を、また聞きなしとして計4種を採録した。

呼び名としては一般的であったが、住民が鳥の姿を目にすることは少なかったようである。

エ 聞きなし

- ・ グゲー ・ グーゲー ・ クククー ・ チッチッチ



## 3) カモ目

### ⑫ オシドリ (カモ科)

ア 対象種

オシドリ

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名 オシドリ
- ・ 地方名 オシガモ

ウ 呼び名の状況等

ため池等で見かけられるカモ科の冬の渡り鳥であり、繁殖期の雄は橙色が目立つ体色となる。

本種の呼び名として「オシドリ」と「オシガモ」の計2種を採録した。

なお、隣接地域として聴き取りを行った津市高野尾町では「ニジガモ」を採録した。



#### 4) ハト目

##### ⑬ アオバト (ハト科)

ア 対象種

アオバト

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名・体色から アオバト

ウ 呼び名の状況等

主に林などで見かけられるというハト科の留鳥であり、黄緑色に近い体色を持つ。

本種の呼び名として「アオバト」の1種を、また聞きなしとして1種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ アホーアホー



#### 5) カッコウ目

##### ⑭ ツツドリ (カッコウ科)

ア 対象種

ツツドリ

イ 採録した呼び名

—

ウ 呼び名の状況等

人里近い林にも飛来するというカッコウ科の夏の渡り鳥である。

カッコウやホトトギスと同様に托卵の習性を持つ。

本種の聞きなしとして1種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ ツツ ツツ

オ その他

鳥がツツ ツツと鳴くと「筒の中に豆が入ってとんで、早よ入れよ (=豆の種を蒔け)」と言ったという話や、「竹に種を入れて忘れていると、「ツツ ツツ」と鳴く鳥が教えてくれる」と言っただという話を採録した。



##### ⑮ ジュウイチ (カッコウ科)

ア 対象種

ジュウイチ

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名・鳴き声から ジューイチ

ウ 呼び名の状況等

人里近い林にも飛来するというカッコウ科の夏の渡り鳥である。

カッコウやホトトギスと同様に托卵の習性を持つ。

本種の呼び名として「ジューイチ」の1種を、また聞きなしとして計2種を採録した。

エ 聞きなし

- ・ ジューイジューイ
- ・ ジューイチジューイチ



## 6) ブッポウソウ目

### ⑩ ヤマゼミ (カワセミ科)

ア 対象種

ヤマゼミ

イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名から ヤマゼミ

ウ 呼び名の状況等

山辺の溪流近くの木立で見かけられるというカワセミ科の留鳥である。

川に飛び込み魚を取ることはカワセミと同様であるが、体色は背が白黒の細かいまだら状であることに加え、より大型種である。

本種の呼び名として「ヤマゼミ」の1種を採録した。

なお、隣接地域として聴き取りを行った亀山市関町福德では本種の呼び名として「カワセミ」を採録した。



### ⑪ アカショウビン (カワセミ科)

ア 対象種

アカショウビン

イ 採録した呼び名

—

ウ 呼び名の状況等

山林で見かけられるというカワセミ科の夏の渡り鳥であり、その名のとおり赤みを帯びた体色と赤い嘴を持つ。

本種の聞きなしとして計2種を採録した。

猟や炭焼き等の山仕事で山によく入った山辺の集落の人々が認識している程度であった。

エ 聞きなし

- ・ ケラケラ
- ・ ケラケラケラ



## 7) アマツバメ目

### ⑩ アマツバメ (アマツバメ科)

ア 対象種

アマツバメ

イ 採録した呼び名

- ・ 地方名 ヤマツバメ

ウ 呼び名の状況等

山中で見かけられるというアマツバメ科の夏の渡り鳥であり、比較的大型のツバメである。

本種の呼び名として「ヤマツバメ」の1種を採録した。

他種のツバメの可能性も残る。



## 8) チドリ目

### ⑱ ケリ (チドリ科)

#### ア 対象種

ケリ

#### イ 採録した呼び名

- ・ 標準和名 ケリ

#### ウ 呼び名の状況等

田んぼで見かけられるチドリ科の留鳥である。畦などで巣を作り、近づくとキチキチといった特徴的な鳴き声をあげる鳥として、現在でもよく認識されている。

本種の呼び名として「ケリ」の1種を、また聞きなしとして1種を採録した。

ほぼ郡内全域で「ケリ」と呼ばれたようである。

#### エ 聞きなし

- ・ キチキチ



### ⑳ タシギ (シギ科)

#### ア 対象種

タシギ等

#### イ 採録した呼び名

- ・ 一般名 シギ

#### ウ 呼び名の状況等

身近な林や水田等で見かけられるシギ科の冬の渡り鳥である。

呼び名は広い範囲で採録したが、あまり認識されていない鳥であった。

本種の呼び名として「シギ」の1種を採録した。

ほぼ全域で「シギ」と呼ばれたようである。

#### エ 関係する伝承・諺等

- ・ 「ゴイドリごじゅう、シギしじゅう」



タシギ

### (13) -2 その他の鳥類 (種別が不明なもの)

聴き取り調査のなかで併せて採録した他の鳥類の呼び名や聞きなしで、種別が不明なものとして次のものがみられた。

#### ① チンチロリンと鳴く鳥

ア 採録した呼び名

チンチロリン

イ 呼び名の状況等

林で「チンチロリン」ときれいな鳴き声をあげる鳥とされるが、種別ははっきりとしない。

ウ 聞きなし

チンチロリン

#### ② 藪に関係する鳥の呼び名

ア 採録した呼び名

ヤブガモ

イ 呼び名の状況等

藪に関係するカモ類の呼び名として「ヤブガモ」の1種を採録した。

通常のカモと異なり「藪の中に入る」という話がみられたが、種別ははっきりとしない。

ウ その他 (藪に関係した鳥類の呼び名)

- ・ 「ヤブスズメ」 (=スズメ)
- ・ 「ヤブチン」、「ヤブッコ」、「ヤブドリ」 (=アオジ)

#### ③ 川 (川原) に関係する鳥の呼び名

ア 採録した呼び名

カワスズメ、カワラスズメ

イ 呼び名の状況等

川原でよく見かけられた小型の鳥であるとされるが、種別ははっきりとしない。

ほぼ郡内全域で呼び名を採録する一方、一部の集落ではセグロセキレイ等の呼び名となっていたが、多くの集落で種別不明でありスズメ、セキレイ類、チドリ類等の呼び名と考えられる。

ウ その他 (川 (川原) に関係した鳥類の呼び名)

- ・ 「カワセミ」、「カワラ」、「カワラセミ」、「カワラゼミ」 (=カワセミ)
- ・ 「カワラチドリ」、「カワラチュンチュン」、「カワラノオヒコドリ」、「カワラノオフリ」 (=セグロセキレイ)
- ・ カワガラス (=カワガラス)

#### ④ 海 (浜) に関係する鳥の呼び名

ア 採録した呼び名

ハマ、ハマスズメ

イ 呼び名の状況等

浜から群れで飛んできたスズメ大の鳥であるとされるが、種別ははっきりとしない。

郡内では海に比較的近い東部地域を中心に呼び名を採録し、一部の集落ではムクドリの呼び名とされていたが、回答が分かれる集落では不明種として整理をした。

ウ 関係する伝承・諺等

- ・ 「ハマスズメが群がってくると雨が降る」
- ・ 「海が荒れるとハマスズメが来る」

エ その他 (海 (浜) に関係した鳥類の呼び名)

- ・ 「ハマノオッチクドリ」 (=セグロセキレイ)
- ・ 「ハマガラス」、「ハマノカラス」 (=カラス)
- ・ 「ハマスガラ」 (=不明種)



### ⑤ その他1 (全域又はほぼ全域で採録した鳥の呼び名)

#### ア 採録した呼び名

アホドリ、アホードリ

#### イ 呼び名の状況等

郡内のほぼ全集落で採録され郡域では一般的な呼び名となっていた鳥であるが、種別ははっきりとしない。

鳴き声 (アホーアホー等) から呼び名である。

#### ウ 聞きなし

- ・ アッホーアッホー
- ・ アホーアホー

### ⑥ その他2 (一定の地域で採録した鳥の呼び名)

#### ア 採録した呼び名

ハクドリ、ホーキドリ

#### イ 呼び名の状況等

- ・ ハクドリ

山辺の集落を中心に広い範囲でみられた呼び名であるが、採録集落数としては限られた。種別ははっきりとしない。

当時の老婆が、「クックードリかハクドリか、白米もてこいクッククー」と子守唄として歌い背中の幼児をあやしていたという話がみられた。

- ・ ホーキドリ

郡内の広い範囲でみられたが、あまり一般的な呼び名ではなかったようで、採録集落数としては限られた。

種別ははっきりとしないが、一部の集落でキジ、ヤマドリ (雌) の別名だという話がみられた。

### ⑦ その他3 (一集落でのみ採録した鳥の呼び名)

一集落でのみ採録した種別が不明な鳥の呼び名として次のものがある。

#### ア 採録した呼び名 (採録集落)

- ・ ククリ (亀山市関町坂下)
- ・ クワカタ (鈴鹿市庄野町)
- ・ コーボードリ (亀山市川崎町)
- ・ コンジロ (亀山市安知本町・田茂町)
- ・ ハマスガラ (鈴鹿市平田・弓削・岡田)
- ・ ボーズ (亀山市関町市瀬)

#### イ 関係する伝承・諺等

- ・ 「コーボードリは弘法さんの使い」

### ⑧ その他4 (鳴き声の聞きなしのみ採録した鳥)

聞きなしのみ採録し、その種別が不明なものとして次のものがある。

#### ア 聞きなし

- ・ ケチンボ ケチンボ
- ・ ナンジャコリヤ ナンジャコリヤ (:何じゃこりや 何じゃこりや)
- ・ ヨーミトケ (:よ一見とけ)